

<R02-No19 : 写真測量 : 問題>

次の a ~ e の文は、公共測量における写真地図の作成について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 建物の倒れ込みの影響の少ない写真地図を作成するためには、同一撮影コース内の隣接空中写真との重複度及び隣接コースの空中写真との重複度が、できるだけ小さくなるように撮影計画を立てるとよい。
- b. 数値写真は原則として1年以内に撮影されたものを用いることとし、撮影時期、天候、撮影コースと太陽位置との関係などによって現れる色調差や被写体の変化を考慮して用いる。
- c. 正射投影画像は、数値写真を標定し、数値地形モデルを用いて作成する。
- d. 数値地形モデルの作成において、すべての河川及び湖沼などの陸水面は地表面に分類し、その標高は、周辺陸域の最近傍値からの内挿処理によって求める。
- e. 数値地形モデルの点検は、デジタルステレオ図化機などを用いて計測された標高点と、抽出された数値地形モデルファイルの標高点を比較して行う。

- 1. a, c
- 2. a, d
- 3. b, d
- 4. b, e
- 5. c, e